

第6回 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を
確保する地域の会」でご説明いたしました

1. 日時 平成15年10月2日(木) 18:30~21:15

2. 場所 柏崎原子力広報センター 研修室

3. 議題 特認申請とシュラウドについて

(説明)原子力安全・保安院

詳細)「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する
地域の会」ホームページ参照

<http://www.tiikinokai.jp/index.html>

4. 議事中の当社説明内容

再循環系配管等の追加点検の実施

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所川俣部長より、配付資料に基づきご説明いたしました。

[配付資料]追加点検を実施する継手数 (P 2・3 参照)

牧委員から前回の議事「維持基準導入の考え方」について関連追加質問をいただき、そのうち“インセンティブ制度”について回答させていただきました。

[配付資料]インセンティブ制度について (P 4 参照)

以上

追加点検を実施する継手数(その1)

(再循環系配管)

号機	継手総数	今回未点検の継手数*	今回点検した継手数
1	72	27(25)	45
2	66	47(46)	19
3	62	31(31)	31
4	78	10(9)	68
5	79	14(11)	65

*:()内数字は、今回の補修工事において、一部配管取替が行われた後の未点検継手数



追加点検を実施する継手数

追加点検を実施する継手数(その2)

(ノズルとセーフエンド溶接部)

号機	継手総数	今回未点検の継手数	今回点検した継手数
1	12	3	9
2	12	6	6
3	12	6	6
4	12	6	6
5	12	6	6

インセンティブ制度について

平成15年6月9日
東京電力株式会社

1. インセンティブ制度の概要

a. インセンティブ制度の導入(H9.4~)

- 定期検査の短縮化を図り、原子力発電所の設備利用率を向上させることにより、火力燃料を節約できるため、コストメリットが生じる。
- 原子力発電所で働く方々の「定期検査短縮に向けた創意工夫」に報いるため、このコストメリットの一部を分かちあうインセンティブ制度を導入。

b. 支払い実績(H13年度まで)

- H9年度の制度導入以降、全17プラントで計28定検がインセンティブの対象となり、請負会社20社に対する支払い総額は37.1億円となっている。なお、1定検平均では1.3億円。

発電所	支給実績	支給額	支給総額
福島第一	8回	約3.3億円	約38.5億円
福島第二	7回	約11億円	約10.4億円
柏崎刈羽	13回	約3.3億円	約18.2億円
(合計)	—	—	約37.1億円

2. 定検工程

a. 計画段階における検討

- ① 当社より工事項目と仮の定検日数を各請負企業に提示
- ② 当社及び請負企業にて、工事の工程短縮を実現するための課題を抽出(作業品質の維持が前提)
- ③ 抽出された課題に対する解決策とその実現可能性を検討
- ④ 当社及び請負企業の双方が実現可能と判断した場合はその日数に決定、不可能と判断した場合は日数を再設定し再検討を実施

事前に各請負企業と十分に検討・調整を行った上で、定検日数を決定

b. 定検開始後

- 労働災害に関する過去の教訓から当日予定されている以外の作業(予定外作業)は禁止
- 当日分の作業が予定外に進捗しても工程を進めて翌日分の作業を実施することはしない(例え工率上の余裕が生じても当初計画工程を遵守)

定検開始後は無理に工程を短縮することはせず、定検開始前に計画した工程を守って作業を実施

3. 定検短縮への取り組み

- 定期検査においては、各機器の定期点検及び施設の信頼性向上・機能維持のために行う改造・修理工事の作業量を考慮して実施期間を定めており、短期・中期・長期の定期検査を組み合わせて実施している。
- 定期検査の短縮のため、下記の方策を実施している。

<短縮方策具体例>

a. 時間的ロスの削減

- 時間単位の工程管理…時間単位工程表・当直操作工程表等の作成
工程管理チームによる全体工程の管理・調整 他
- 作業環境の改善…管理区域内トイレの設置、管理区域内給水所の設置、防護区域内仮設事務所の設置、他

b. 作業効率の向上

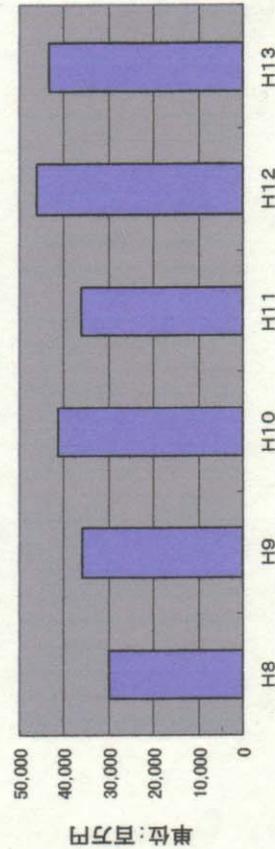
- 機器の入れ替え点検方式の採用…制御機駆動機構、主蒸気逃がし安全弁 他
- 点検機器改善による作業効率化…燃料交換機高速化、天井クレーン二重化

c. その他

- オンラインメンテナンスの拡大…常用系空調機、計装品、共通系電源設備、海水系スクリーン等
- 点検時期調整(点検周期内での長期定検へのシフト)
- 2交替、3交替作業の導入

4. 修繕費推移

柏崎刈羽原子力発電所の修繕費の推移



5. 今後の取り扱い

インセンティブ制度は廃止し、改めて発電所で働く方々のご意見を伺うことなどにより、どのような制度が望ましいか再検討すること致しました。